

春

捕獲方法	課題	改善策等
定置網(格子網)による捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・当歳の幼獣の捕獲が多かった。 ・20cm×40cmの格子網では大きな成獣も通過していた。 ・船が定置網に近づくと、逃げていく個体を何度も目撃。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続(状況に応じて、25cm×25cm格子網、20cm×40cm格子網を使い分けて実施。) ・タイマー式幕網を装着 ・岩礁周辺に設置 ・波の比較的穏やかな場所に設置 ・試験的に実施 ・網の仕様を変更 ・試験的に実施
アザラン捕獲用わなによる捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲できなかった。 ・うねりが強いと、わなが安定せず捕獲できないものと考えられた。 ・定置網から離して設置すると被害を及ぼす個体以外も捕獲される。 	
刺し網による捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・網が破られたが、有効な捕獲方法と考えられた。 ・被害を及ぼす個体以外も捕獲される。 	



秋

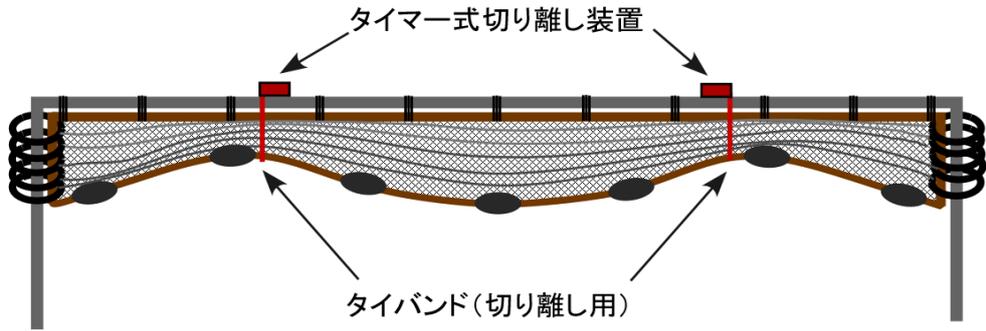
捕獲方法	具体的な方法	期間・回数	備考
定置網(格子網)による捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・被害が多い定置網において(金庫網4箇所のうち1箇所) ・捕獲状況をみつつ、格子網20cm×40cm若しくは25cm×25cmを用いて捕獲 	秋の定置網漁期間中 (8月末～9月末)	
定置網(タイマー式幕網)による捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・上記定置網において、格子網の上部に結束バンドで留めた幕網が、タイマー装置により結束バンドが切れ、落ちる仕組み。(別添図参照) ・格子網は中心部は20cm×40cmで通りやすくしておき、周辺部は20cm×20cmとし幕網が落ちた際にも周辺から逃れにくいように配慮 	上記期間中に最大10回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・格子網・幕網は藤森先生に構造をご提案いただき、漁業者に作成してもらう。 ・8月に動作確認
アザラン捕獲用わなによる捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・岬周辺の岩礁付近に設置(比較的、波が穏やかな湾状の溜まりなど) 	上記期間中	
刺し網による捕獲	<ul style="list-style-type: none"> ・刺し網を岩礁付近の一方をふさぐように設置し、反対方向から漁船で岩礁付近にいるゼニガタを追い込む。 ・生きたまま捕獲するため、すぐに刺し網を引き上げる。 	10月頃に最大5回程度	状況に応じて、網及び方法を改良する



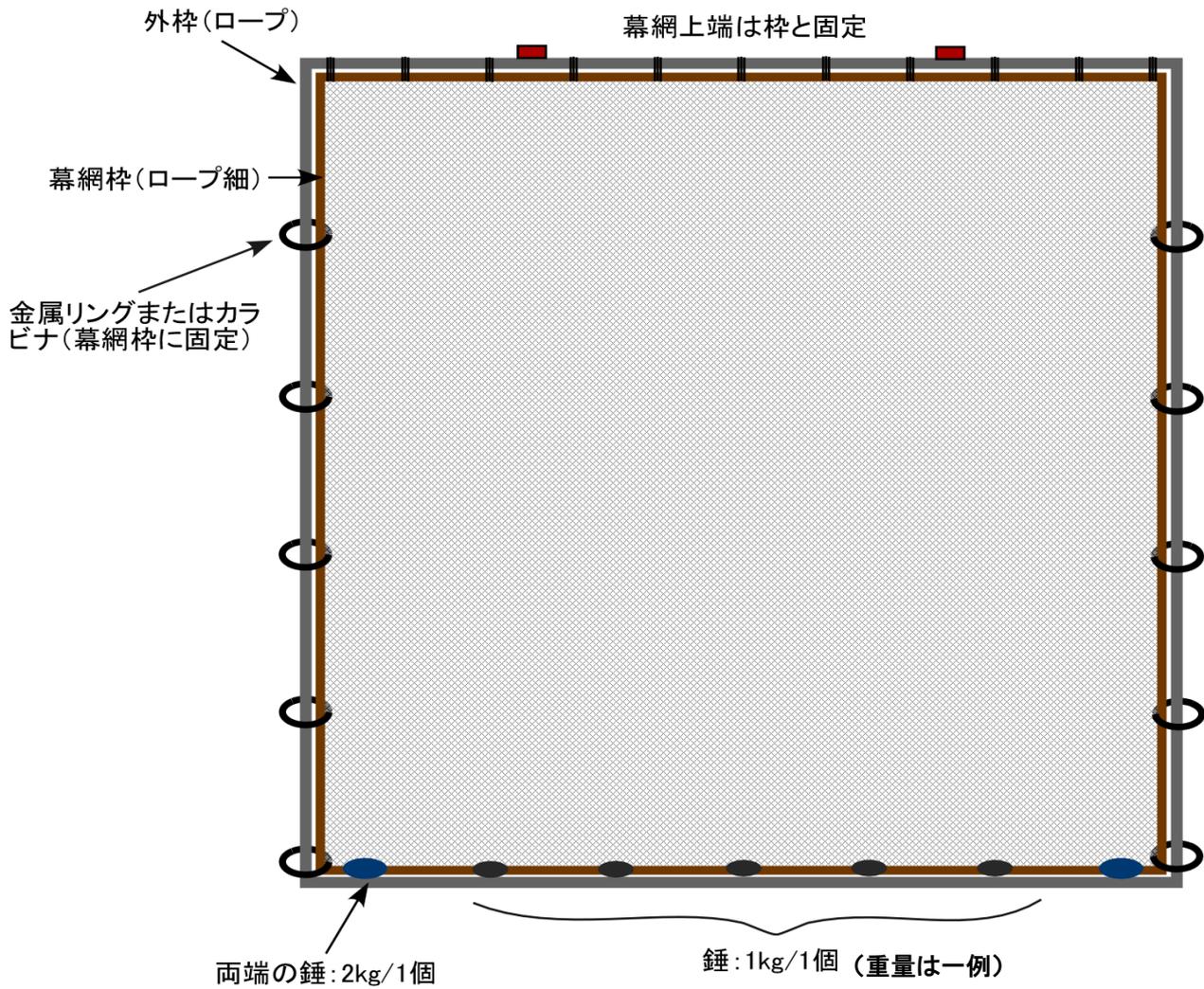
定置網による捕獲(被害を及ぼしている個体を選択的に捕獲)を主としつつ、個体群管理として、わなや刺し網による生体捕獲を実施し、効果・効率等を検証する。

※捕獲された個体の性別・年齢等に極端な偏りが生じた場合は、捕獲方法を見直す。

設置時



解放時



※藤森先生提供。